

平成21年5月29日

国土交通省

東北地方整備局 福島河川国道事務所 郡山国道事務所 磐城国道事務所  
 三春ダム管理所 摺上川ダム管理所 小名浜港湾事務所  
 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

## 平成21年度 補正予算の概要について

平成21年度の国土交通省の福島県内事務所における補正予算として、約123億円が計上されましたのでお知らせします。

### 1. 平成21年度補正予算の概要

平成21年4月に取りまとめられた「経済危機対策」に基づく補正予算については、底力発揮・21世紀型インフラ整備、地域活性化等、安全・安心などを推進するため、所要の一般公共事業等予算が計上されたところである。

一般公共事業予算の配分に当たっては、追加の趣旨を十分踏まえ、地域経済の動向や地方公共団体の要望等に即しつつ必要な事業費に重点的かつ効率的な配分を行うこととする。

【参考】 配分対象事業費 2兆 635億円  
 内訳  
 一般公共事業費 2兆 449億円  
 官庁営繕費 186億円

福島県内事務所における東北・北陸地方整備局関係の補正予算については、一般公共事業費等として約123億円が計上されております。

平成21年度事業別・事務所別補正予算  
 (単位:百万円)

事業	事務所名	当初予算	補正予算
河川	福島河川国道事務所	3,887	1,476
	阿賀川河川事務所	1,671	775
	三春ダム管理所	664	—
	摺上川ダム管理所	586	—
	河川計	6,808	2,251
道路	福島河川国道事務所	12,110	2,091
	郡山国道事務所	11,297	1,738
	磐城国道事務所	12,387	2,262
	道路計	35,794	6,091
港湾	小名浜港湾事務所	5,087	4,000
	港湾計	5,087	4,000
合計		47,689	12,342

## 2. 平成21年度補正予算による主な事業のポイント

=====**河川事業**=====

### 【福島河川国道事務所】

- ・ 阿武隈川支川荒川右岸地区（福島市）で堤防を嵩上げするなど、堤防の強化を図り、“**洪水に対する安全度の向上**”を図ります。（事業費 350百万円）
- ・ 阿武隈川支川荒川<sup>とこがためこうぐん</sup>床固工群（福島市）の補修及び改築を行うことにより、河床洗掘を防止し、河道を安定させ、地域の観光資源である土湯温泉街の“**土砂災害の防止**”を図ります。（事業費 367百万円）

### 【阿賀川河川事務所】

- ・ 洪水を安全に流すため、<sup>じやくしようにてい</sup>弱小堤となっている阿賀川右岸<sup>さのめ</sup>佐野目地区<sup>ゆがわ</sup>（湯川<sup>むら</sup>村）の堤防整備“**弱小堤対策**”を実施します。  
（事業費 156百万円）
- ・ 阿賀川右岸<sup>さのめ</sup>佐野目地区<sup>ゆがわむら</sup>（湯川村）において、良好な河川空間を利用し水辺の魅力を引き出すことで、市民との交流および地域活性化の拠点と位置づけた“**地域連携事業**”<sup>ちいさけんけいじぎょう</sup>を推進します。（事業費 60百万円）
- ・ 洪水を安全に流すため、<sup>たいせき</sup>堆積土砂等で支障となっている箇所<sup>かどうくつさく</sup>の“**河道掘削**”を実施します。（事業費 106百万円）

=====**道路事業**=====

### 【福島河川国道事務所】

- ・ 高速道路ネットワークを形成する“**東北中央自動車道（福島～米沢）**”（福島市）において、事業を推進します。（事業費 900百万円）

- ・ “国道115号<sup>りょうぜん</sup>霊山道路”（伊達市<sup>だて</sup>）は、調査、測量、設計を推進します。（事業費 500百万円）
- ・ 災害発生時の緊急輸送路である国道4号“弁<sup>べん</sup>天<sup>てん</sup>橋”（福島市）において、塗装塗り替えを実施し、橋梁の長寿命化及び安全性の向上を図ります。（事業費 200百万円）
- ・ 災害発生時の緊急輸送路である国道4号“油<sup>ゆ</sup>井<sup>い</sup>高架橋”（二本松市）などの橋梁において、耐震補強工事を実施し、大規模地震時における落橋や倒壊等の甚大な被害を防止します。（事業費 355百万円）

#### 【郡山国道事務所】

- ・ 災害発生時の緊急輸送道路である国道4号“うねめ高架橋”（郡山市）において、橋脚補強を実施し、大規模地震時の安全性及び信頼性の向上を図ります。（事業費 450百万円）

#### 【磐城国道事務所】

- ・ 国道49号“平<sup>たいら</sup>バイパス”（いわき市）は、上<sup>かみやだ</sup>矢<sup>やだ</sup>田<sup>だ</sup>交<sup>こう</sup>差<sup>さ</sup>点<sup>てん</sup>～内<sup>うち</sup>郷<sup>ごう</sup>御<sup>み</sup>台<sup>だい</sup>境<sup>かい</sup>地区間の渋滞解消に向け、上<sup>かみ</sup>荒<sup>あらかわ</sup>川<sup>かわ</sup>橋、五<sup>ご</sup>郎<sup>ろう</sup>内<sup>うち</sup>橋の4車線化工事を推進します。（事業費 200百万円）
- ・ 国道49号“三<sup>み</sup>和<sup>わ</sup>トンネル”（いわき市）は、老朽化及び狭隘トンネルの解消に向け、別線ルート（L=1.7km）のトンネル工事を行うものであり、改良舗装工事、トンネル設備工事を推進します。  
このことにより、平成23年度供用目標を前倒しし、平成22年度内の供用を図ります。（事業費 510百万円）
- ・ 道路改築当時のモルタル吹付法面の風化が著しいなど、大雨時に被災の恐れがあり、対策が必要と判定されている箇所である国道49号“北<sup>きた</sup>好<sup>よしま</sup>間<sup>ま</sup>地区”（いわき市）他において、法面对策を実施し、道路防災能力の向上

を図ります。(事業費 240百万円)

- ・ 災害発生時の緊急輸送路である国道6号“<sup>まのがわぼし</sup>真野川橋”(<sup>みなみそうま</sup>南相馬市) 他において、落橋防止装置の設置や橋脚補強を実施し、大規模地震時の安全性及び信頼性の向上を図ります。(事業費 240百万円)
- ・ 国道6号“<sup>きどがわぼし</sup>木戸川橋”(<sup>ならは</sup>榑葉町) 他において、経年変化などによる損傷箇所の補修や塗装塗り替えを実施し、橋梁の長寿命化及び安全性の向上を図ります。(事業費 260百万円)
- ・ 国道6号“<sup>ふたぼ</sup>双葉地区”(<sup>ふたぼ</sup>双葉郡<sup>ふたぼ</sup>双葉町) 他において、付加車線を設置し、安全・円滑な交通の確保を図ります。(事業費 606百万円)
- ・ 国道6号(いわき市～<sup>しんち</sup>新地町)において、“情報BOX防災対策”を実施し、情報BOXに收容されている光ケーブルの信頼性の向上を図ります。(事業費 206百万円)

====港灣事業====

【小名浜港灣事務所】

- ・ “<sup>おなはまこうひがしこうちく</sup>小名浜港東港地区多目的国際ターミナル整備事業” (いわき市) において、多目的国際ターミナルの整備進捗を図り、滞船の解消や増加する貨物へ対応するなど安定した荷役を確保します。(事業費 1,000百万円)

このお知らせは、下記記者クラブに同時発表しています。

○福島県政記者クラブ

○福島市政記者会

○いわき市記者クラブ

○郡山市記者クラブ

○会津若松市記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

- 福島河川国道事務所 TEL 024-546-4331  
(河川関係)  
副所長(河川) 佐々木 秀明 (内線204)  
工務第一課長(河川) 水越 崇 (内線311)  
(道路関係)  
副所長(道路) 向井 秀一 (内線205)  
工務第二課長(道路) 吉田 良勝 (内線411)  
道路管理第二課長 小倉 儀治 (内線441)
- 郡山国道事務所 TEL 024-946-0333  
副所長(管理) 斉藤 忠則 (内線205)  
管理課長 大澤 尚史 (内線431)
- 磐城国道事務所 TEL 0246-23-2211  
副所長(改築) 柴田 孝助 (内線204)  
副所長(管理) 奥山 英治 (内線205)  
工務課長 石井 重好 (内線411)  
管理課長 小山 行則 (内線431)
- 三春ダム管理所 TEL 0247-62-3145  
管理係長 高原 克己 (内線332)
- 摺上川ダム管理所 TEL 024-596-1275  
管理係長 佐々木 到 (内線332)
- 小名浜港湾事務所 TEL 0246-53-7100  
副所長 東山 和博 (内線22)  
企画調整課長 渋谷 賢治 (内線46)

◎国土交通省 北陸地方整備局

- 阿賀川河川事務所 TEL 0242-26-6441  
副所長 佐々木 健一 (内線204)  
工務課長 柳 智之 (内線311)

事業名	阿武隈川支川荒川 荒川右岸地区堤防整備	
事業着手:平成21年度		
事業の必要性・事業の概要		
<p><b>「事業の必要性」</b>  阿武隈川支川荒川の当該地区については、堤防の高さが計画に対して低く、堤防としての機能が十分確保されていません。  一方、堤防の背後は人家連担であることや、福島市の都市軸である国道13号福島西道路やJR東北新幹線、東北本線等の施設があり、荒川の氾濫は福島市へのダメージはもとより社会経済活動へ大きな影響を与えることから、当該地区の堤防の完成堤化を進めるものです。</p>	<p>福島県</p> 	
<p><b>「事業の概要」</b>  堤防の拡築を実施し、治水安全度の向上を図ります。</p>		
平成21年度補正予算による事業内容		
○補正予算を投入することで、荒川右岸地区の堤防の完成堤化を図ります。		
事業効果		
○補正予算を投入することで、これまで断面不足だった約 800m の堤防を完成堤化し、治水安全度の向上を図ります。		

事業名	阿武隈川水系 火山砂防事業 荒川床固工群 (福島県 福島市)
-----	--------------------------------

事業着手:平成20年度
事業の必要性・事業の概要

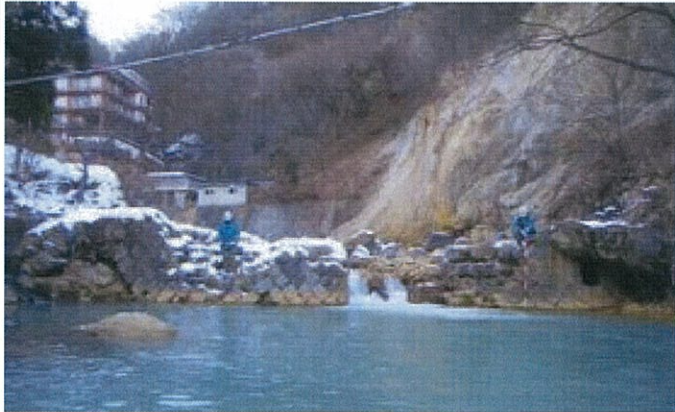
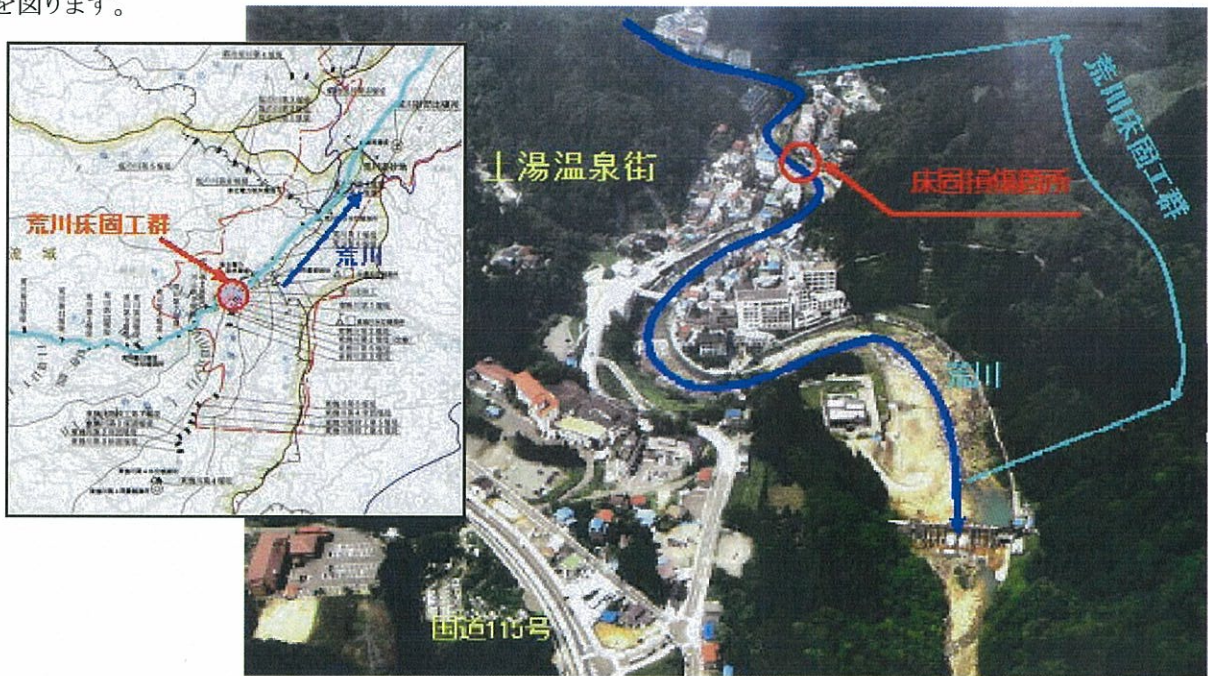


**「事業の必要性」**

阿武隈川水系荒川流域では、昭和11年より事業を開始し土砂災害防止のための整備を進めていますが、度重なる出水や老朽化により、施設の損傷等が発生しています。このため、施設の補修・改築をおこなう必要があります。

**「事業の概要」**

阿武隈川水系荒川流域において、福島市の土湯温泉街への土砂災害を防止するため、床固工群の補修、改築をおこない、河床の洗掘防止、河道の安定を図ります。



床固(石積流出箇所)



平成18年(2006)10月出水時の状況

**平成21年度補正予算による事業内容**

○床固工損傷箇所の補修・改築をおこないます。

**事業効果**

○河床洗掘の防止、河道の安定化により、保全対象である土湯温泉街の土砂災害防止を図ります。

( 新規・完成・**主要** ) 事業箇所 ( **直轄**・補助 ) 事業

あかがわ さのめ じゃくしょうてい  
**阿賀川 佐野目地区弱小堤対策の実施**

ふくしま ゆがわ  
**福島県湯川村**

●安全で安心な地域づくり

### 事業の概要

阿賀川では堤防高及び堤防断面が不足している堤防が多く、平成19年度末での堤防整備率は約39%と低い状況です。平成14年7月11日出水では、はん濫危険水位に達する出水となり、湯川村佐野目地区の流下能力不足箇所の弱小堤防の解消を図るものです。

### 整備効果

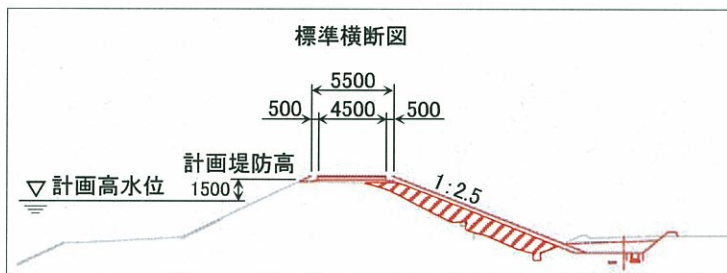
流下能力不足箇所の弱小堤防部の解消を図るとともに、治水安全度の向上を図ります。

### 事業着手

平成21年度

### 平成21年度補正予算の事業内容

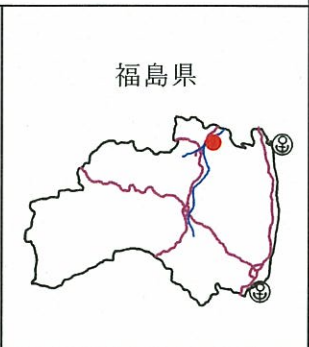
用地取得及び築堤整備を実施します。





事業名	東北中央自動車道 福島JCT～米沢IC
-----	---------------------

事業着手:平成10年度
事業の必要性・事業の概要

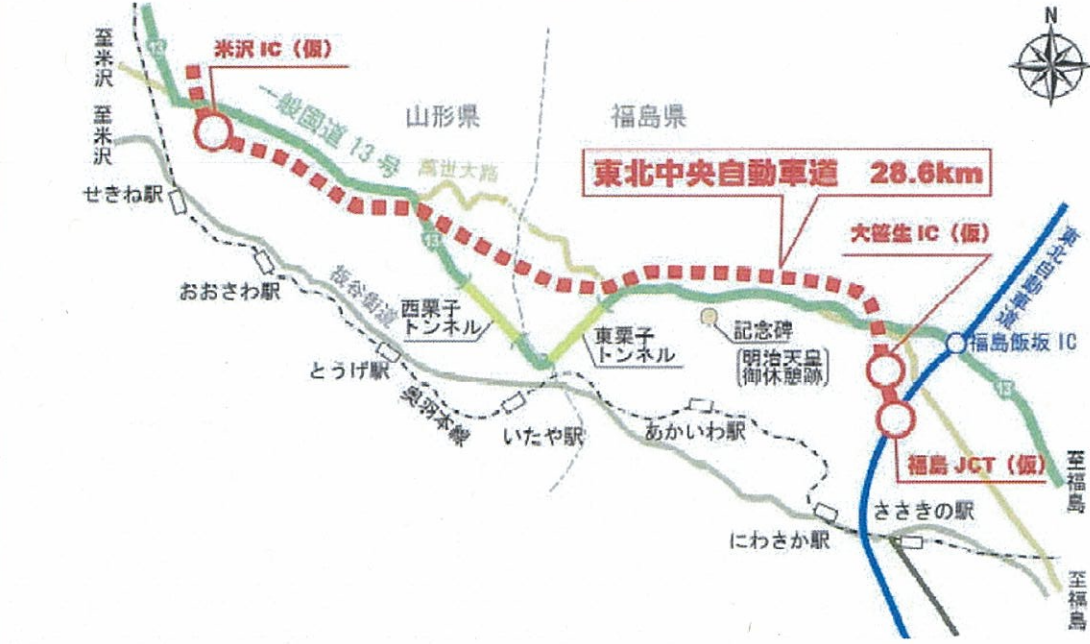


**「事業の必要性」**

東北中央自動車道は、南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより、緊急時における代替および迂回路等のネットワーク機能の強化のため、整備を進めるものです。

**「事業の概要」**

東北中央自動車道の福島JCTから米沢ICまでを整備するものです。



**平成21年度補正予算による事業内容**

○補正予算を投入することで、道路改良工事等を継続推進します。

**事業効果**

○自動車専用道路の整備により、福島～米沢両市間の所要時間を大幅に短縮します。

<b>事業名</b>	うねめ高架橋耐震補強
------------	------------

<b>事業着手</b> :平成21年度
<b>事業の必要性・事業の概要</b>



**「事業の必要性」**

管内の橋梁は昭和30～40年代に建設されたものが多く、大地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会、経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な震災対策が求められています。

**「事業の概要」**

国道4号のうねめ高架橋において橋脚補強等の耐震工法を実施します。



**平成21年度補正予算による事業内容**

○国道4号のうねめ高架橋において橋脚補強等の耐震工法を実施します。

**事業効果**

○緊急輸送道路としての機能向上及び大規模地震時の安全性及び信頼性が向上します。

事業名	国道49号 <sup>みわ</sup> 三和トンネル(直轄) (いわき市)
事業着手:平成16年度	
事業の必要性・事業の概要	

「事業の必要性」

国道49号三和トンネルは、昭和37年に施工されたトンネルで、老朽化の進行が著しく道路防災上抜本的な対策が必要であるとともに狭隘であり、ISO国際規格背高海上コンテナ(9フィート6インチ)の通行に支障があり、重要港湾小名浜港と県南・県中地域を結ぶ物流ネットワークの強化が求められ、早急な対策が必要となっております。

「事業の概要」

国道49号三和トンネルは現トンネルの老朽化に加え、ISO国際規格背高海上コンテナの通行が不可能であり、これらを抜本的に解消し、重要港湾小名浜港と県南・県中地域を結ぶネットワークを強化し効率的な海陸一貫輸送の実現を図る事を目的として、別線ルートでの改良を行うものです。



▲三和トンネル路線計画



▲現三和トンネルが抱える問題

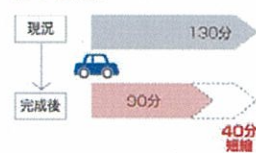
三和トンネルの整備効果

●所要時間、走行距離の短縮による物流の効率化

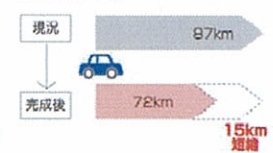
小名浜港から郡山貨物ターミナル等への背高コンテナ車が一般国道49号を利用できるようになると、現在ルートである「(主)いわき石川線と一般国道118号を利用するルート」よりも所要時間が130分から90分に、走行距離が87kmから72kmに短縮されます。

また、一般国道49号を通行することにより、冬期における通行支障箇所を避けることができ、交通の確実性が向上します。

●アクセス改善



●走行距離の短縮



●交通事故の減少

現在の三和トンネルの前後区間における勾配と比較して、約半分の勾配(現在i=5.0%、計画i=2.5%)に改善されるため、下り坂の自動車の速度超過が緩和され、追突事故と車両単独事故の減少が期待されます。

▲三和トンネルの整備効果

平成21年度補正予算による事業内容

○補正予算を投入することで、改良舗装工事及びトンネル設備工事を推進し、平成23年度供用目標を前倒しし、平成22年度内の供用を図ります。

事業効果

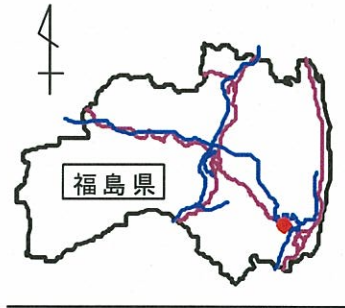
○重要港湾小名浜港と県南・県中地域を結ぶネットワークが強化され、物流の効率化が図られます。  
○縦断勾配が改善され、交通事故の減少が期待されます。

事業名	国道49号 <small>きたよしま</small> 北好間地区防災対策(いわき市)
-----	--

**事業の必要性・事業の概要**

**「事業の必要性」**

道路改築当時のモルタル吹付法面の風化が著しいなど、大雨時に被災の恐れがあり、対策が必要と判定されている箇所については、早急な防災対策が求められています。

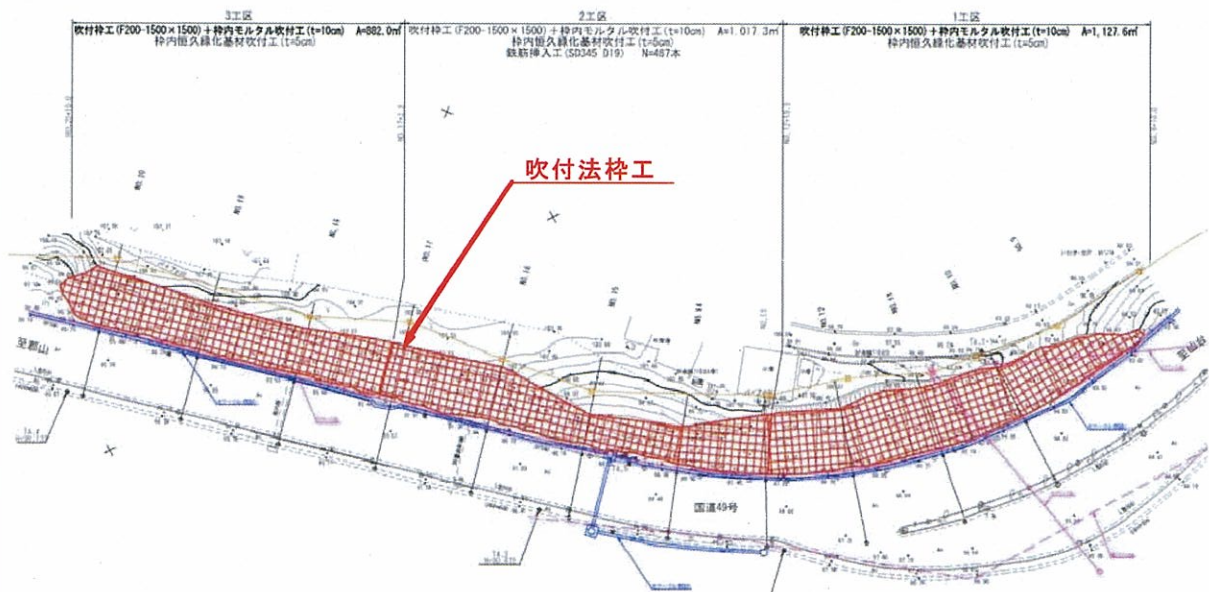


**「事業の概要」**

国道49号いわき市好間町北好間地区は、モルタル吹付の亀裂や剥落片、背面の空洞化がみられるため、法面の防災対策を実施し、道路防災能力の向上を図るものです。



▲北好間地区の法面全景



▲北好間地区の防災対策図

**平成21年度補正予算による事業内容**

○国道49号のいわき市好間町北好間地区において、吹付法枠工及びロックボルト工などの法面工事を実施します。

**事業効果**

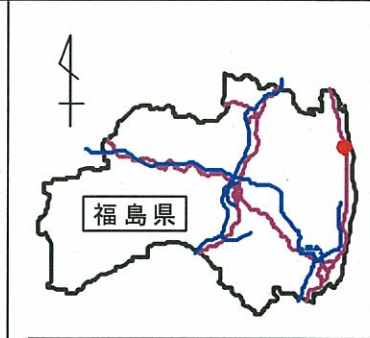
○緊急輸送道路として安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されます。

事業名 国道6号 <sup>まのがわばし</sup> 真野川橋耐震補強(南相馬市)

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

管内の橋梁は、昭和30～40年代に建設されたものが多く、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な震災対策が求められています。

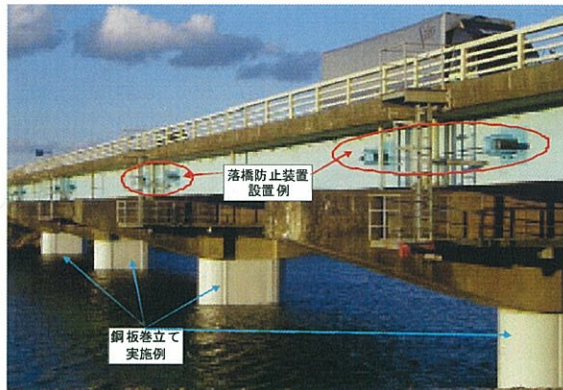


「事業の概要」

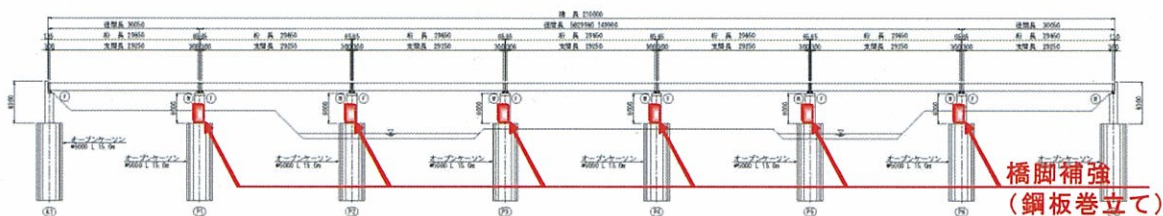
震災対策は、橋梁における地震による落橋を防止する装置の設置、巻立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。



▲真野川橋の全景



▲耐震補強の実施例



▲真野川橋の耐震補強図

平成21年度補正予算による事業内容

○国道6号の真野川橋において、鋼板巻立てによる橋脚補強を実施します。

事業効果

○緊急輸送道路としての機能向上及び大規模地震時の安全性及び信頼性が向上します。

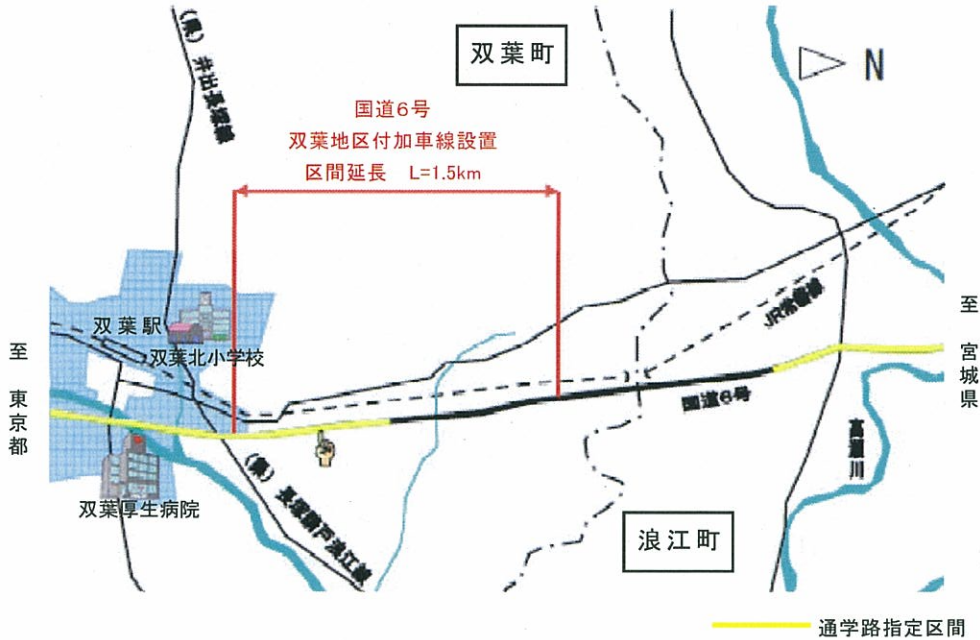
事業名	国道6号 <sup>ふたば</sup> 双葉地区付加車線設置(双葉町)
-----	-------------------------------------

事業着手:平成21年度
事業の必要性・事業の概要

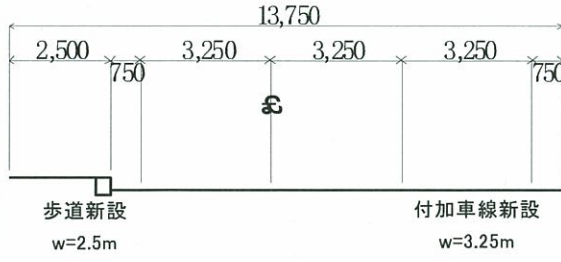


**「事業の必要性」**  
 国道6号は、東京都中央区を起点に福島県の浜通りを縦貫し宮城県仙台市に至る延長約400kmの主要幹線道路である。  
 当該区間は、福島県双葉郡双葉町の中心市街地の北側に位置し、交通量が約20,000台/日と多い。また、前後区間を含め追越禁止区間となっており、追突による事故が多発している。  
 このため、国道6号に付加車線及び歩道を設置し、交通の円滑化及び交通事故の防止への対策を図ります。

**「事業の概要」**  
 国道6号上り線側に付加車線、下り線側に歩道の新設をするものです。



▲ 現況写真



▲ 計画横断面図

**平成21年度補正予算による事業内容**

○補正予算の投入により、付加車線及び歩道の整備に着手し、事業の完成を図る。

**事業効果**

○付加車線及び歩道を新設し、安全で円滑な交通の確保を図る。

<b>事業名</b>	国道6号 情報BOX防災対策(いわき市～新地町)
------------	--------------------------

<b>事業着手:平成21年度</b>
<b>事業の必要性・事業の概要</b>



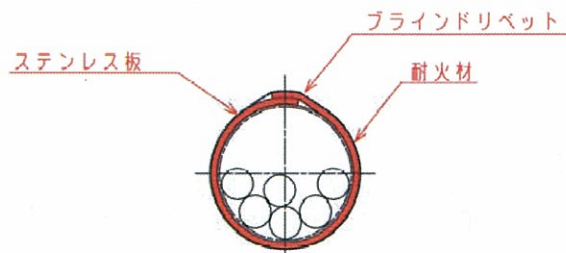
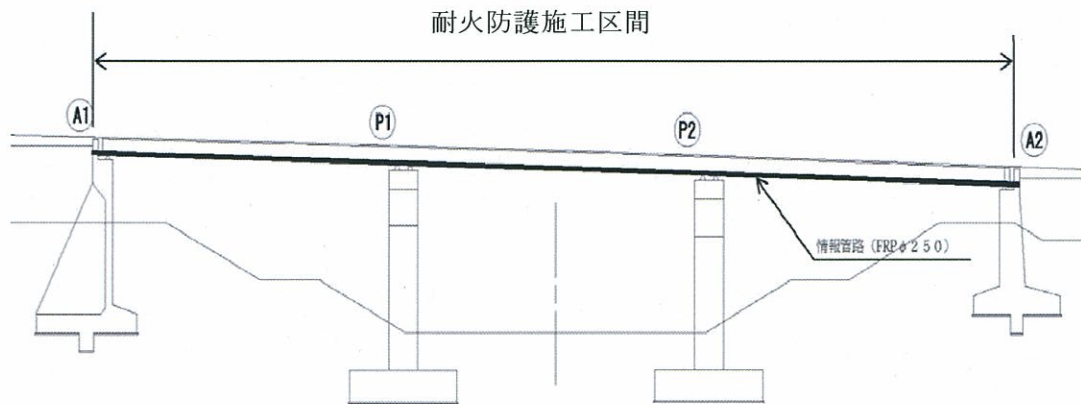
**「事業の必要性」**

国道6号は東京都中央区を起点とし、太平洋沿岸の主要都市を經由して宮城県仙台市に至る、総延長430kmの主要幹線道路です。  
 本事業は、国道6号に設置されている情報BOXに収容されている光ケーブルの信頼性を確保するために、橋梁部における情報BOXの耐火防護及び鍵の二重化を実施するものです。

**「事業の概要」**

国道6号いわき市から新地町までの情報BOXの防災対策を実施するものです。

**【橋梁部における耐火防護実施例】**



(耐火防護の断面イメージ図)

**平成21年度補正予算による事業内容**

○補正予算を投入することで、磐城国道事務所管内の整備を完了します。

**事業効果**

○情報BOXに収容されている光ケーブルの信頼性が向上します。

● **小名浜港 東港地区多目的国際ターミナル整備事業（直轄）**

【補正事業費：1,000百万円、完成・供用目標：平成25年度】

- ・泊地（水深14m）の浚渫を実施し、事業の進捗を図ります。



**補正予算の投入効果**

- ・補正予算を投入することで、多目的国際ターミナルの整備進捗を図り、滞船の解消や増加する貨物へ対応するなど安定した荷役を確保します。